

議会だより

題字：岡部中学校 2年 望月 椰実さん

Vol.
233

ふじえだ市議会だより
令和7年2月5日号

令和7年 議員から皆様へごあいさつ

昨年は藤枝市議会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年も皆様と力を合わせ、地域の課題解決と市民の皆様への負託に応えるため全力で取り組んでまいります。

健康で希望に満ちた一年となりますようお祈りいたします。

今年も宜しく願っております。



令和7年度

予算編成に向けて、議会から市へ提言

市の主要事業における成果や課題の整理、施策の評価を3つの常任委員会で行い、以下の項目を「提言書」として市長へ提出しました。



総務委員会

- 1 地域防災の強化と総合防災の徹底
- 2 自治会等の負担軽減と地域コミュニティの活性化について
- 3 サッカーのまち藤枝の次代への推進
- 4 ハラスメント防止対策とメンタルヘルスケアの強化



健康福祉教育委員会

- 1 放課後児童クラブの開所時間の延長について
- 2 重症心身障害者の看護・医療が整った施設整備について
- 3 学校 ICT 環境推進事業の新たな取り組みについて
- 4 医療機関と薬局の連携について



建設経済環境委員会

- 1 自然災害に対する強靱化対策
- 2 引き続き交通渋滞緩和へ向けた基幹道路整備を
- 3 「地域計画」と併せた低・未利用農地の戦略的有効活用の推進
- 4 道路維持補修の推進



提言書は市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



令和6年11月定例会月議会の概要 日程:11月25日～12月18日(24日間)

令和6年11月定例会月議会で審議した市長提出議案4件、諮問1件、議員発議案1件について、全議案とも原案どおり可決・適当とされました。

市長提出議案(第65号議案～68号議案、諮問第6号)

- ・ 予算案件(令和6年度補正予算) 1件
- ・ 条例案件 1件
- ・ その他案件 2件
- ・ 人事案件 1件



第65号議案～68号議案



諮問第6号

※各議案については、藤枝市議会ホームページをご覧ください。

pick up!

「令和6年度藤枝市一般会計補正予算(第5号)」 (第65号議案)

主な補正内容は、増加する特殊詐欺を防止するため、電話がなる前に通話内容を録音することを自動で相手に伝える「事前予告機能」がある機器の購入件数の増加に伴い、補助金を増額して支援します。また、手足口病などの感染症の流行により、こどもの医療費が増加したことに伴い、助成費を増額して対応します。その他、オフィス誘致の増加及び県補助事業の追加などに伴う補正を行います。



「市有財産(土地)の取得について(新学校給食センター整備用地)」 (第68号議案)

新学校給食センター整備用地として、総地積1万947.9平方メートルの土地を取得するため、土地所有者と売買契約を締結するものです。

議員発議案

発議案第16号 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書

現行の民法では、婚姻時に夫婦のいずれか一方が姓を改めることと規定しています。多様性を認める社会、男女共同参画、基本的人権の尊重の観点から、世論の動向や最高裁の判断趣旨も踏まえた上で議論を進め、適切な法的選択肢を用意することは、国の責務であるため、国会及び政府に対し、選択的夫婦別姓制度にかかる議論を積極的に行うことを求めるものです。



人事案件 次の人事案件について適当としました。

- ◆ 諮問第6号 人権擁護委員 後藤 英和さん(岡部町村良)

議長と広報広聴委員による「静岡産業大学 冠講座」を開催！ ～議員と大学生がグループワークで率直な意見を交わしました～

市では毎年、包括連携協定を結ぶ静岡産業大学において、職員等が講師を務める冠講座を開講しており、12月23日（月）には、議長の講話と、議員と学生によるグループワークを行いました。学生たちの様々な意見を引きだしながら議論を行いました。



グループワークテーマ

～開かれた市議会を目指して～
市議会議員とともに未来の藤枝市を考える

『住みたくなる街にするためには』

『若者の意見を反映できる市議会にするには』

『人口減少対策を考える』



Q&A 一般質問

11月定例会議会の一般質問は、
12月3日(火)、4日(水)、5日(木)の
3日間にわたり行われました。

- 議員が市の一般事業に対して、執行状況や将来の方針をただしたり、政策的な提言を行います。質問は1議員50分以内です。
- 一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
- 市ホームページで議会録画映像の配信や「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になれます。



インターネット議会中継

会議録検索システム

災害時の取組について

☞協力を申し出る企業との協定拡充について

☞118の自治体や民間団体と協定締結しており、早期の復旧・復興に繋がる新たな災害時協定の締結も含めて、官民連携により更なる防災体制の強化に努めてまいります。

☞災害時協力井戸に登録できない理由について

☞現在、市内全域への分散登録を進めている中で、27箇所指定避難所の地域内に45基が登録されており、新たに登録希望があっても、地域内の目標登録数を満たしている場合やすでに登録がある井戸に近い場合などは登録を見送らせていただいております。未登録地区への呼びかけを行うとともに現行制度の見直しを含め、登録拡大に努めてまいります。

☞災害時における情報提供について

☞「同報無線」「市防災アプリ」「キックオフメール」「ライン」など多様な媒体にて同様の内容を配信しており、職員が一度の操作で各媒体に同時に配信することができる「防災緊急情報一斉配信システム」を活用してスピード感を持った情報提供体制を構築しています。

☞議員のひらいた

市民の皆さまからの疑問や要望などをお聴きすることも増えてきましたが、今回のように地域に根差した経営をされている企業からの声を聞くことも、改めて重要なことだと感じました。今後も視座を高く持っていきたいと思えます。



藤のまち未来
寺田亜記子 議員





藤新会
大石 心平 議員



市内空き家等の現状について

問 専門家団体との実効的な空き家対策について伺う。

答 本市独自の官民連携の取り組みを更に進める為、民間事業者が公的な立場で空き家所有者を支援できる「空き家等管理活用支援法人制度」を導入した。

問 本市の管理不全空き家の認定事例とその程度について伺う。

答 本年九月に「そのまま放置すれば特定空き家になる恐れがある」として草木の繁茂や廃棄物散乱等のある二件の空き家を管理不全空き家に認定し指導を行なった。

問 本市の空き家問題には市街化調整区域も影響していると考えられる。本年度の市街化調整区域における土地利用可能性調査事業の進捗と今後の展望について伺う。

答 先ずは高洲地区等の市街化区域に隣接する調整区域について、市条例を制定し、一部土地利用が可能となるよう県との協議に入るところである。



議員のひとこと

少子高齢化や進む核家族化で今後更に空き家問題は増える。この問題を最小限とする為にも、本市としては市内各地区の土地利用に関して柔軟に対応して頂きたい。



藤新会
植田 裕明 議員



歴史遺産を活かそう 史跡の映像化を検討してはどうか

問 本市の歴史遺産の志太郡衙、田中城を復元映像化してはどうか。

答 志太郡衙跡は、本市のルーツともいえる史跡で、多様なデジタルコンテンツとして効果的に発信する手法について検討してゆく。田中城は、4重の円形が重なった全国で唯一の個性的な形状であり、当時の姿を映像として再現することで観光誘客につながるとともに、本市の歴史学習にも役立つものと考えている。

問 金比羅山の九景寺古墳の内部を見られるように映像化してはどうか。

答 九景寺古墳は、横穴式石室で、市史編さん事業の発掘調査時に撮影した古墳内部の記録写真があるため、ホームページ等で公開してゆく。



九景寺古墳 横穴式石室 刻壁

日本遺産の周知と活用について

問 日本遺産に対する市民の意識をどう捉えているか。

答 日本遺産への市民の認知度は高まってきていると感じている。認知度を高めるため、来年の大河ドラマ「べらぼう」の薦屋重三郎が、十返舎一九らを世に送り出したことから、まさに日本遺産をPRする絶好の機会と捉え、あらゆるツールを活用した情報発信に取り組んでゆく。



藤のまち未来
川島美希子 議員



これから求められる交通課題への対応

問 葉梨地区はバス停型乗合タクシーへの転換を求める要望書を提出しバス停を50か所に増やし五十海市立総合病院線へ接続を要望。可能性は。

答 西方から藤枝大手間の利用者は少ないことと、路線バスよりもコストも削減できる。地域の合意形成を進められた地元地域の皆様にお礼申し上げ、来年10月の実現を目指していく。

誰一人取り残さない要配慮者の避難計画

問 国は令和3年にガイドラインを改正し、要配慮者が福祉避難所に直接避難できる避難計画の作成を求めているが、本市の避難行動要支援者や福祉避難所の現状はどうか。医療的ケアの必要な方を含め、要配慮者の個別避難計画の作成の早急な取り組みを求めます。

答 現在、17施設を福祉避難所に位置づけ、最大65人の受け入れが可能となっている。避難行動要支援者登録申請書の提出件数は令和5年度末時点で4138件である。実効性の高い個別避難計画とするために、浸水想定区域等特に危険な地域からモデル的に避難行動要支援者の抽出を行い、取組む。また、医療的ケアが必要な方の計画は、医療機関を含めた関連機関と協議しながら作成していく。

議員のひとこと

要配慮者・独居の高齢者、認知症等避難時に支援を希望する方は、登録申請書に希望を記入しましょう。災害時は自助と地域などの共助が大事です。



藤新会
多田 晃 議員

晃 議員



令和7年度予算案の概要と戦略方針について

問 令和7年度の予算編成の概要について伺う。

答 現時点で見込まれる予算規模は、前年比60億円の増額となる670億円程度を見込んでいます。要因として大型プロジェクトの進捗、社会保障費の増高、あらゆるものの値段が上がり、人件費・光熱水費・建設労務単価などが大きく影響している。一方で来年度も希望が持てる施策展開を図っていく。具体的には、各学校の体育館への空調設備整備や1か月児健診の公費負担、また喫緊の課題である特殊詐欺対策では、警察・薬剤師会と被害防止の啓発に関する協定を結び、協定を結び、予算編成を待たずに出来ることはすべてやっていく。さらに「食と農」「健康×医療」を軸とした新産業への具体の取組みや土地利用の推進など、稼げる施策も積極的に取り組んでいく。

問 施設の老朽化などへの対応について伺う。

答 令和28年度までを計画期間とする「藤枝市アセットマネジメント基本方針」に基づき、長寿命化による将来経費の負担軽減を図っており、計画期間内に必要な経費の総額を583億円と試算。この内インフラ施設などを除く市庁舎などの建築物に係る経費が128億円と試算している。



藤のまち未来
八木 勝 議員

八木 勝 議員



本市のドローン活用とその未来について

問 本市独自の無人航空機運用マニュアルに基づいて運用を行っているとのことだが、このマニュアルの内容はどのような基準で策定され、また、災害の種類や規模に応じた柔軟な対応が可能なものになっているのか。

答 ドローンを飛行させる際に必要となる「ドローンの点検や整備」「災害や夜間飛行などを想定したドローン操縦訓練」「ドローン操縦者等が遵守する事項」「安全を確保するために必要な体制」など、航空法に基づき策定され、ドローンの安全な運用を確保するためのものである。

問 市内民間企業との協定締結を進めるとのことだが、具体的な対象企業と締結に向けた課題及びスケジュールについて伺う。

答 いつ発生するかわからない災害に対応できる体制や農業や土木など多分野における地域課題の解決に向け、ドローンを使った活動を迅速かつ的確に行える豊富な経験と優れた技術を有した民間企業、団体との連携が不可欠である。できるだけ早い時期に、企業あるいは団体との協定締結に取り組んでいく。

議員のコメント
ご要望のタイミングに備え、平時に何をしておくべきか!!



藤新会
深津 寧子 議員

深津 寧子 議員



高次脳機能障害者支援について

問 啓発活動の現状と今後の計画について伺う。

答 高次脳機能障害は、脳に障害を持つことで多くの困難があるが、「見えない障害」とも言われ、周囲からの理解が進まないことが課題となっている。あらゆる機会を通して啓発活動を行うとともに、研修会を実施するなど、市民をはじめ支援する側の理解促進にも努める。

問 藤枝市立総合病院の支援体制や取組課題について伺う。

答 志太榛原圏域唯一の高次脳機能障害支援協力医療機関として、県中部保健福祉センター主催の高次脳機能障害医療等総合相談会にリハビリ科医や作業療法士を派遣している。また、志太地区の支援拠点機関と定期的な検討会を通じて、医療・福祉・就職など各機関と連携支援している。

問 福祉・教育・医療機関との連携強化の具体的な方策は。

答 高次脳機能障害の症状は多様であり、経済面や権利擁護など地域社会での生活課題や支援も多岐にわたる。回復期においても医療と福祉が両輪となる支援が重要。小中高生やその家族が受傷した場合は教育機会の確保も必要。そのため自立サポートセンターを設置し、多機関が連携して伴走支援する重層的支援に取り組んでいる。

議員のコメント
「見えない障害」高次脳機能障害に、支援充実を求めつつ、知識を学び偏見をなくし、地域で支え合いの輪を広げましょう。



藤新会
神戸 好伸 議員



環境に最適なクリーンセンターの炉

問 藤枝市が誇る『炉』に決定した背景は？

答 仮宿・高田に建設中のクリーンセンター焼却炉は、環境意識の高い圏域の皆様の御理解と御協力により、ゴミの分別による資源化や減量化が着実に進んでおり、プラスチックを混ぜて焼却する「溶融炉」と比較すると、補助燃料が不要で、二酸化炭素の排出量も少なく燃焼温度も低いため、施設整備費や維持管理費などの経費も抑えられることから、全国の8割以上で稼働している『ストーラー式焼却炉』を採用した。

蓮華寺池公園の植栽について

問 アジサイの剪定は、開花が終わりカガ（花芽）が着く前の時期が基本。8月中旬に煩雑に剪定したものはカガ（花芽）を度外視したもので全くあり得ない。花が終わり剪定後に、カガ（花芽）の分化が始まる。剪定された下の葉の付け根に成長点が円錐状に出来、大きさは0.2mm〜0.3mm。気温17度18度となる10月頃には分化初期のドーム型になってくる。そして11月12月頃には、分化の終盤となり花の組織が出来上がってくる。この時期で0.4mm〜0.5mmであり、肉眼では見られなく顕微鏡の世界である。肉眼での確認はハツライ（発蕾）と言って蕾が出来る5月上旬です。12月今の時期にカガ（花芽）は順調に着いているのか何う。

答 12月初旬、カガ（花芽）は着いていた。



日本共産党
石井 通春 議員



ふれあい広場、借地の見直しを

問 「ふれあい広場」（以下、広場）のほとんどが市が借りている借地である。防災訓練の集合場所、夏祭りなど地域住民に不可欠だが、相續など売却が必要となれば返還しなくてはならない。借地から買取へと転換すべき。

答 借地を基本とするが、課題は認識している。広場の設置基準の見直しを検討する。

問 高洲に公園を求める声は多くあり、広場に遊具を設置できないのも借地がネックとなる。

答 土地所有者や地域の合意を前提に事例の紹介や助言を行っていく。

使いやすい介護タクシー制度に

問 車いすの方に欠かせない「介護タクシー」は需要が多くある一方（年間延べ約4000人）、介護事業所の人手不足で相次いで撤退。通常のタクシー料金が必要となり通院を控えているという声を頂いた。過去2回の議会論戦で市は介護タクシーに準じる福祉有償運送の構築を明言したが進捗は。

答 2つの社会福祉法人（富水会、三愛会）の協力で、市内全域と隣接地をエリアとする送迎サービスを1月下旬に開始。運転と乗降支援をするサポーター2名で対応、利用料は運送の対価800円と介助料800円の合計1600円。距離に関係なく定額制とする。

問 新制度が開始となって喜ばしい。通院だけでなく買物等利便性の拡大を。

答 通院と併せた買物、金融機関等検討する。



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



藤枝市の英語教育の更なる発展を願って

問 授業以外でのALTの英語を教える機会とその効果について何う。

答 平成28年度より、ALTとの課外活動「藤枝イングリッシュキャンプ」を開催している。年4回、休日に開催するイベントで、児童生徒がクイズ大会や世界の料理体験、クリスマスイベントなど、楽しみながらALTと英語でコミュニケーションを行うものである。これに加え、昨年度からはALTと英語によるコミュニケーションを希望する中学生を対象とした「藤枝カレッジセッションクラブ（英会話クラブ）」を開催している。複数のALTがチームを組み、水曜日の放課後に各中学校を訪問し、生徒と自由なテーマで英会話を楽しんでいる。

問 ALTが直接児童生徒に英語を教える意義について何う。

答 中学校卒業時まで、簡単な英語を使い日常会話ができるようになってもらいたいとの思いから、市長就任時から順次ALTを増員し、現在19名体制で取り組んでいる。ALTとの学習活動を通して、ネイティブの英語に触れ、さらにはALTのバックボーンとなっている文化や物の考え方を肌で感じることが出来る。直接コミュニケーションを図ることが出来る環境は、児童生徒がこれまで知らなかった外国が身近になり、異文化への興味関心を引き出すことへもつながると考えている。



日本共産党
やとしまりこ 議員



小石川の水害対策について

問 気候変動で、各地で浸水被害が心配されている。小石川流域でも、度々浸水が起こり町内会から対策要望が出ている。市の対応は。

答 ハード・ソフト両面から水害対策を早急に講じる必要がある。水災害対策プランに基づき、各戸への雨水タンクと浸透ますの設置補助を来年度より実施する。浸水箇所については、早期の対応が必要な箇所から順次実施していく。

非正規公務員(会計年度任用職員)について

問 3年ごと入替で公募をするが、国のマニュアル改定で、このルールは削除された。安心して働き、経験を積めるよう3年目公募はやめないか。

答 広く募集するために、基本は3年間とする。優秀な方の継続的な確保と就労機会の創出の両立に向けて見直す。

問 正規より15分短いとパートとなり退職金がない。頑張りが報われるよう退職手当がつくフルタイム雇用を検討してほしい。

答 処遇改善は、国の対応を注視し適切に図る。正規・非正規とも働きやすい環境づくりに努める。
議員のひとこと
水害対策を急いで！
非正規への差別的制度をなくす働き方改革を！



藤新会
山川 智己 議員



藤枝市立総合病院の経営強化プランについて

問 医師の働き方改革と医療人材確保の状況は？

答 医師労働時間短縮計画の策定や総合的なサポート体制の構築に取り組んでいる。医師だけでなく、他職種の医療従事者の確保が課題となる中で、タスク・シフト(医師の業務を他職種に移譲)のための特定行為看護師やドクターズクラーク(医師事務作業補助者)の拡充を図り、その領域拡大を進めていく。

救命救急センターにおいては、機能強化とタスク・シフトに向け、来年度から正規職員として病院救急救命士を採用し、2名を配置する。これまで以上に幅広い業務を担ってもらうことで、救命救急の機動性向上につなげていく。

問 志太榛原医療圏における藤枝市立総合病院の役割と在り方は？

答 志太榛原医療圏の中核を担い、命を守る砦として、市内外から信頼される病院をこれからも築いていく。病院を取り巻く環境は全国的にも厳しい状況にあるが、苦しいからこそチャンスであり様々な改革ができることを考えている。

議員のひとこと

職員を減らすのも重要な人材確保です。労働環境改善やハラスメント防止対策等、医療従事者に寄り添う体制を構築し、病院一丸となり市民を守っていただきたい。病院経営と働き方改革には、市民の皆様の理解と協力も不可欠です。



公明党
大石 保幸 議員



働き方改革について

問 様々な業界で「働き方改革」が叫ばれているが、市立総合病院での取り組みを伺う。

答 病院を含め市役所全体で働き方改革とワーク・ライフバランスを推進しているが、病院では、医師の業務の一部を特定行為看護師などの他職種で行う領域拡大、複数主治医制や休日当番制の導入など、長時間労働の改善と安定した医療サービス提供の両立に取り組んでいる。

問 小中学校の教員に対する「働き方改革」と外部人材の活用について伺う。

答 教員が子ども達に向き合う時間を創出できるよう、市としても職場環境の改善を行っているが、各学校では会議の削減や定時退庁日の設定、教員の意識改革を進めている。また教員の授業づくりについての専門的な指導助言を行う「スーパーティーチャー派遣事業」では、保健体育や音楽など実技のある授業をサポートし、教員の授業づくりに係る負担の軽減に役立っている。



議員のひとこと

今回は、市民生活に関わりの深い医師と教員の「働き方改革」・「ワーク・ライフバランス」について伺いました。



公明党
山本 信行 議員



GIGAスクール端末について

問 GIGAスクールに関連する整備事業に必要な経費の確保について、本市の考えを伺います。

答 静岡県教育委員会や市長会などを通じ、GIGAスクール構想に関連する一連の経費について、財政支援を強く求めていくとともに、さらに手厚い財政支援制度を創設するよう強く国に要請してまいります。

学校看護師について

問 医療的ケアを必要とする児童生徒が、現在学校看護師が配置されていない学校に入学する場合の対応について市の見解を伺います。

答 今後、医療的ケアを必要とする未就学児などが学校看護師が配置されていない学校に入学を希望することも想定されます。その際には、これまでと同様に、教育部局と保育施設や福祉部局などと連携する中で、子どもの情報を早期に把握し、必要となる学校看護師の配置体制を確実に確保してまいります。



藤のまち未来
岡村 好男 議員



『オーガニックビレッジの推進と進捗について』更なる事業加速のための組織強化を図る

問 来年度以降の市の組織体制の確立について伺う。

答 県下初のオーガニックビレッジを宣言した本市としては、取組を更に加速するため、来年度は有機農業推進係を専任の室に格上げし、市内の茶や米の生産者で構成するオーガニックシティ推進協議会や教育・環境など他分野との効果的な連携体制を整え、更なる事業の推進を図ります。

問 来年度以降の事業取組方針について伺う。

答 具体的内容については学校給食提供の拡充や有機圃場の規模拡大等、そして有機JAS認証取得経費等に対する補助を継続し、海外輸出への販路拡大支援を重点的に推進していきます。

問 本市のオーガニックシティとしての産地ブランド化に繋げる戦略方針について伺う。

答 市内の有機農産物の魅力とオーガニックシティの取組を浸透させるため、共通のロゴマークを導入し、消費者に選ばれる食材を目指して産地ブランド化を進めます。



議員のひとこと

有機栽培の団地化・集約化を積極的に推進しつつ、慣行農業者の理解を得ながら進めて行くことが拡大の基礎です。頑張ってください。



藤新会
藤崎 正幸 議員



藤枝市制施行70周年記念楽曲・記念映像について

問 藤枝市出身の松谷卓氏と五十嵐耕平氏の作成した記念楽曲と映像を今後様々な方法で活用してほしい。

答 岡部中での活用、朝夕の広報での放送、藤枝駅の発車メロディー、はたちの集いでの活用、本市のシニアプロモーション活動、等々様々な場面で活用する。

自動運転について

問 藤枝ハイパス四車線化や計画道路の開通にはまだ数十年かかる。そこで、渋滞解消、高齢者の免許返納や交通弱者対策、ドライバー不足の企業の誘致やそれに伴う移住者増加のため、自動運転特区を創り企業にフィールドを提供してはどうか。

答 自動運転の技術は未来に必要不可欠である。企業誘致や移住者増加にも効果的であるため自動運転の研究を進め、誘致の可能性を探っていく。

市内AEDの設置状況について

問 AED過疎地区の小園、蔵田地区にAEDを設置してほしい。

答 消防団施設への設置を検討する。

議員のひとこと

人口減少・少子高齢化が進む中、子供たちの未来を今の大人が考えていかなければならない。

議会運営委員会行政視察

令和6年10月24日 埼玉県草加市

内容 議場システムおよびタブレットを活用した議会運営について
市役所本庁舎の通話録音について

議場のバリアフリー化をはじめ、しゃべれる傍聴席や車椅子傍聴席を設置し、広く市民の方が議場に訪れることができる取組みや、タブレットの活用では、映像の出力により、傍聴者の理解を高める工夫が施されていること、委員会では、インターネット配信のシステムを導入し、ライブ字幕により障害のある方にも対応した取組みなどを学んだ。



草加市行政視察のようす

令和6年10月25日 千葉県柏市

内容 柏市議会ハラスメント防止条例について

年々、ハラスメント対策に関しては必要性和重要性が高まっている中、議会ハラスメント防止条例の取組みが、議会や行政の透明性と信頼性を高めることができることを学んだ。条例制定にあたっては、調査検討や有識者の意見や判断を仰ぐことの大切さも参考となった。

建設経済環境委員会行政視察

令和6年10月29日 岩手県花巻市

内容 人・農地プラン〔地域計画〕の取組について

早期から農協等と連携した農業支援体制のワンフロア化、積極的なアンケートの実施と結果に基づく計画の策定、コミュニケーションを密にした農家との危機感の共有等により、政策を前に進めている。本市と異なる点もあるが、地域農業への関心が高く参考にした内容であった。



花巻市行政視察のようす

令和6年10月30日 埼玉県飯能市

内容 鳥獣被害対策の取組について

市役所の複数課から「鳥獣被害対策隊」の隊員を募り、各地区の職員が鳥獣の追い払いや被害状況の聞き取り調査を担当し、鳥獣対策担当職員だけに偏りがちな負担を抑え、地域に根ざしたきめ細かい対応を行う体制を確立している。鳥獣被害対策の体制整備において、非常に参考になると感じた。

令和6年10月31日 建設技術展示館（千葉県松戸市）

内容 防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化等の建設技術について

最新の建設技術を分かりやすく説明した出展技術ブースや災害時に出勤・活躍している災害対策車両等を視察し、併せて技術発表会を聴講した。大規模災害や社会資本の老朽化に対する懸念が大きくなる中、これらに対応する現場力や技術力の向上が課題である。

総務委員会行政視察

令和6年10月31日 千葉県鴨川市

内容 ①全国広報コンクール特選の取組みについて
②シティプロモーションについて

スマホで、その場で、「毎日開きたくなる」サイトをコンセプトにウェブサイトのリニューアルを行い、本年度の全国広報コンクールで特選を受賞した。申請の必要がなく市内で撮影した写真をダウンロード可能とする「フォトバンク」など、工夫を凝らした取組みを学んだ。

令和6年11月1日 茨城県常総市

内容 防災先進都市を目指す取組みについて

平成27年9月の関東東北豪雨により「被災した常総市」から「災害に強い常総市」を目指した取組みを実施している。水害時の広域避難の重要性や、住民の防災意識向上に向けた防災訓練や防災教育の重要性を改めて学んだ。



常総市行政視察のようす

議会改革特別委員会行政視察

令和6年11月5日 大阪府泉大津市

内容 議会改革への取組みについて
(議会改革度調査2023ランキング上位の取組内容等)
議会基本条例の検証について

「議会傍聴よびかけ隊」を編成し全議員が市内3か所に分かれ、一般質問の内容等のチラシの配布を実施。傍聴者数の向上に繋がっているほか、議員が市民等の声を聞く接点となっている。議会基本条例の検証については、「議員の任期期間中」を明文化し定期的実施している。検証シートによる可視化での議員間での評価・検証は重要な取組である。



泉大津市議会行政視察のようす

令和6年11月6日 兵庫県西脇市

議会と語ろう会や課題懇談会等での市民からの意見や要望について、議員問討議を重ね政策提言に繋げるなど市民の声を実現させるルートが確立されている。また、議員個人に留まらず「チーム議会」での全体としての問題解決を目指す取組は注目すべき点である。議会基本条例の検証については「年1回」の検証を明文化し、毎年、全議員出席の場で検証し課題の改善が行われている。

令和6年度議員と市民との意見交換会 (議会タウンミーティング)を開催!!

市議会では、市民の皆様から広く意見を聴く機会として、議員と市民の皆様との意見交換会を開催しています。議会活動の状況報告後、参加された59名の皆様から多くのご意見等をいただきました。いただいた貴重なご意見等については、議会として、誠意をもって取り組んで参ります。



10月12日(土) 14:00~16:00 青島北地区交流センター【参加者 21人】
 10月19日(土) 14:00~16:00 西益津地区交流センター【参加者 35人】
 10月20日(日) 14:00~16:00 藤枝市役所 【参加者 3人】



質問・意見

政務活動費の用途や監査についてはどのようになっているか。

当日の回答

政務活動費は議員一人当たり年間30万円であり用途においては領収書が必要であるため議会事務局が確認している。どの様に使ったかが議会だよりなどに掲載されている。

質問・意見

企業が地元に着し継続的に雇用を生み出すようにして頂きたいが市内の企業誘致についてはどの程度進んでいるのか。

当日の回答

高田地区では企業を誘致し雇用も生まれた。市南部では多くの製薬会社を市が誘致してきた為安定した税収にも繋がっている。内谷方面はすぐ近くに都市計画道路が進められている。



質問・意見

町内会長をしていますが、70歳でも働いている方が多い。市の仕事の簡略化をしてほしい。

当日の回答

町内会長の仕事が年間250日以上あり、多いと感じる。配布物が多いことなど今盛んに減らす事をしている。徐々になので少し時間がかかっている。

質問・意見

学校のトイレの洋式化について進めて頂きたい。

当日の回答

令和9年度までに学校トイレの洋式化は終える予定である。



このほかにもたくさんのご意見をいただきました。詳しくは、ホームページをご覧ください。



2月市議会定例会議会

2月定例会議会は、2月17日から3月19日までの31日間で開かれる予定です。

2月	17日	本会議1日目(☆) 議案上程等 常任委員会	3月	4日	予算委員会①
	26日	本会議2日目(☆) 代表質問		5日	予算委員会②
	27日	本会議3日目(☆) 一般質問		6日	予算委員会③
	28日	本会議4日目(☆) 一般質問・議案質疑等		7日	常任委員会
3月	3日	現地審査		10日	予算委員会④
				11日	予算委員会⑤
				19日	本会議5日目・採決等(☆)

☆藤枝市議会ホームページでも
ご覧いただけます。



常任委員会審査レポート

ピックアップ!

総務委員会

第65号議案 令和6年度藤枝市一般会計補正予算(第5号) 地域防犯活動推進事業費

特殊詐欺電話等防止機器購入費補助金の増額補正を行うものです。本年度は補助金の申請窓口を一本化するなどした結果、補助金申請が増加している点や、特殊詐欺被害防止の観点からも有効な対策であることなどを確認し、委員会としても可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



健康福祉教育委員会

第68号議案 市有財産(土地)の取得について (新学校給食センター整備用地)

新学校給食センターの整備用地として土地を取得するものです。整備用地について以前の利用状況、ハザードマップ等による土地状況、地権者との交渉の経過等を確認し、委員会として可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



▲現地審査の様子

建設経済環境委員会

第65号議案 令和6年度藤枝市一般会計補正予算(第5号) 農道橋塗膜対策事業費

農道中里68号線に架かる山下大橋は塗膜にPCB(ポリ塩化ビフェニル)が含まれており、PCB特別措置法に基づき、令和8年度末までの処理が義務付けられています。環境汚染や人体に影響を及ぼす有害物質を処分する対策工事方法などについて確認し、委員会としても可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



▲現地審査の様子

